

DX実現のための. . .

TOKYOレトロフィット・プロジェクト

“2025年の崖”から滑り落ちないために。。

2025年の崖

経済産業省「DXレポート」より抜粋

多くの経営者が、将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネス・モデルを創出・柔軟に改変する**デジタル・トランスフォーメーション (=DX)** の必要性について理解しているが・・・

- ・既存システムが、**事業部門ごとに構築**されて、**全社横断的なデータ活用**ができなかったり、**過剰なカスタマイズ**がなされているなどにより、**複雑化・ブラックボックス化**
- ・経営者がDXを望んでも、データ活用のために上記のような**既存システムの問題を解決**し、そのためには**業務自体の見直しも求められる中 (=経営改革そのもの)**、現場サイドの抵抗も大きく、**いかにこれを実行するかが課題**となっている

→ この課題を克服できない場合、**DXが実現できないのみでなく、2025年以降、最大12兆円/年 (現在の約3倍) の経済損失**が生じる可能性 (**2025年の崖**)。

DX実現シナリオ

【DXシナリオ】2025年までの間に、**複雑化・ブラックボックス化した既存システム**について、**廃棄や塩漬けにするもの等を仕分けしながら、必要なものについて刷新**しつつ、**DXを実現することにより、2030年実質GDP130兆円超の押上げを実現。**

古き良きもの ⇒ レトロフィットさせて、積極的な延命を施しましょう！

古き悪しきもの ⇒ ローコード開発ツール『**SAPIENS**』で刷新しましょう！

“古きもの”のDX戦力化

今でも現役の
生産設備

ブラックボックス

今でも現役の
ベテラン技術者
の経験/知恵

使い勝手の悪く
なったレガシー
システム

IoT技術を利用して
アナログ・デジタル
変換を行い可視化

システム改新

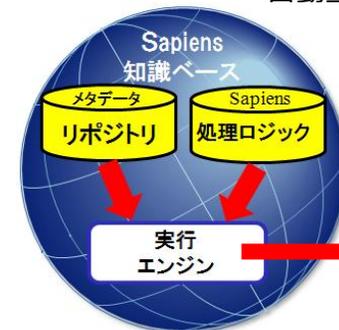
DXの戦力化

業務知識や開発ノウ
ハウを引き出して
可視化

システム刷新

既存システムの
業務仕様書

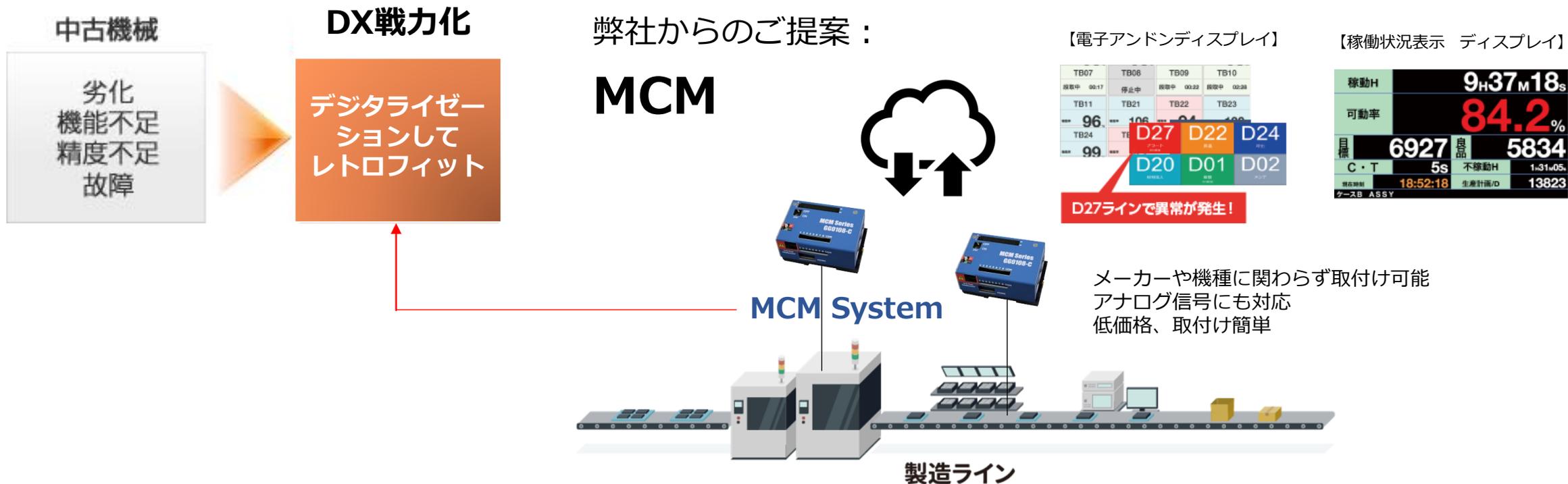
- ・ER図定義
- ・テーブル定義
- ・ルール定義



アプリケーション
自動生成

機械/設備のレトロフィット：

既存のブラックボックス化した機械や設備に最新のIoT技術を付加してデジタル化し、見える化します。



免震レトロフィット：

既存の建物や設備の基礎部分に免震装置を設置して免震構造にすることができます。

弊社からのご提案：**免振スライダー**

サーバーラック、サイネージ（屋内・外）、
ラック棚などの免震対策に！

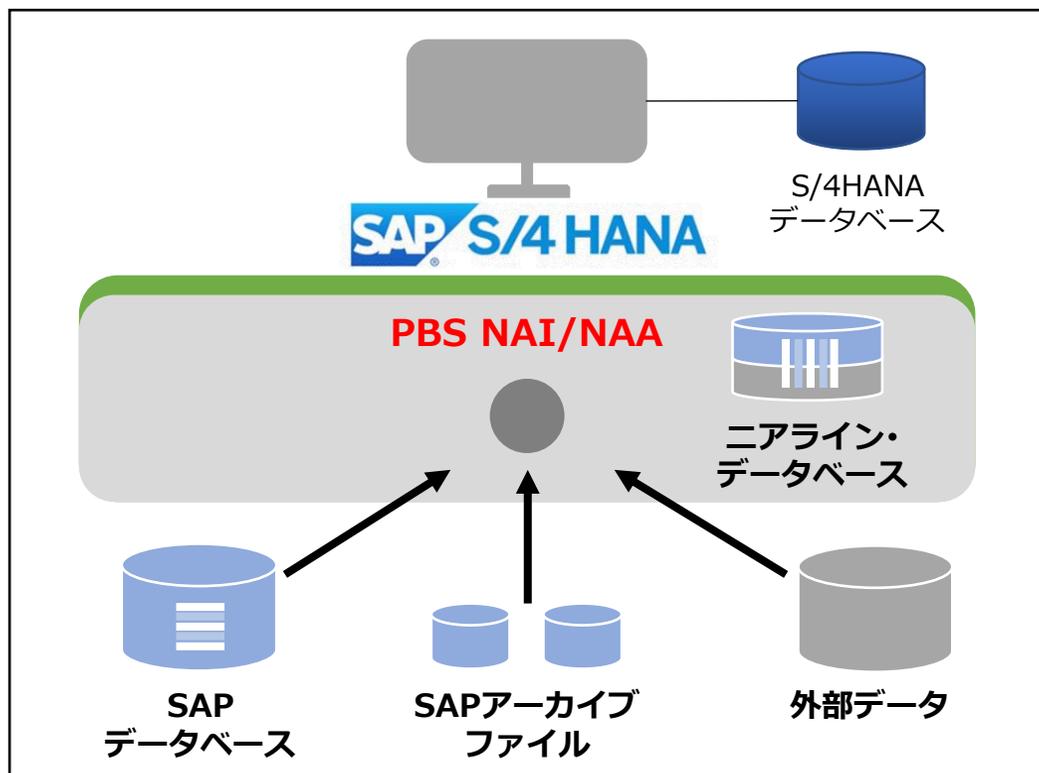


特殊マットのすべり摩擦と超低硬度ゴムベルトにより地震の揺れを軽減し、衝撃力を吸収します。薄型、軽量、簡単施工で効果的な地震対策が可能です。

SAPレガシーデータのレトロフィット：

“過去”データの重要性が、コンプライアンス対策、情報資産価値の高まり、DX経営への移行、サステイナブル経営の必然性などにより、ますます高まっています。

弊社からのご提案：PBS NAI/NAA（ニアライン・ソリューション）



“過去データ”に即座にアクセス

“SAPの2027年問題”への対策に！！

PBSニアライン・データベースをお使いいただくことのメリット

- レガシーデータ移行のための時間（検討・作業）と費用の大幅節減
- トレーニング不要の早期インプリメンテーション
- S/4HANAシステムからの各種データ/ファイルへの高速アクセス
- S/4HANAデータとレガシーデータの同時使用
- レガシーシステム廃止の早期化
- サステナビリティ経営のための情報ライフサイクル基盤の確保
- DX要求に即応する情報分析基盤の確保

S/4HANAに移行する前に、“ニアライン・データベースを準備していただくこと”をお勧めします！！

それが、結果的にTCOの削減に大きく貢献いたします！！！！

人財のレトロフィット：

まだまだCOBOLやRPGなど“レガシー言語”で開発された基幹システムが企業内に残っています。DX対応で塩漬け（継続的なメンテナンスが必要）するにしても、新しいWebシステムに再構築するにしても、現行システムに精通したベテラン技術者の活躍できる場面が多く残されています。

米国でのCOBOL人気急浮上の理由

2020年4月にアメリカ・ニュージャージー州の州知事が、COBOLについて言及しました。新型コロナの流行によりアメリカではロックダウンが実施されました。それにより、アメリカで失業率が増加し、COBOLで実装されていた失業保険の給付申請のためのシステムがダウンしてしまっただけです。それで、州知事がシステムを強化するため、COBOLプログラマーが必要だと会見で述べたのです。

弊社からのご提案：コンテナ化の支援

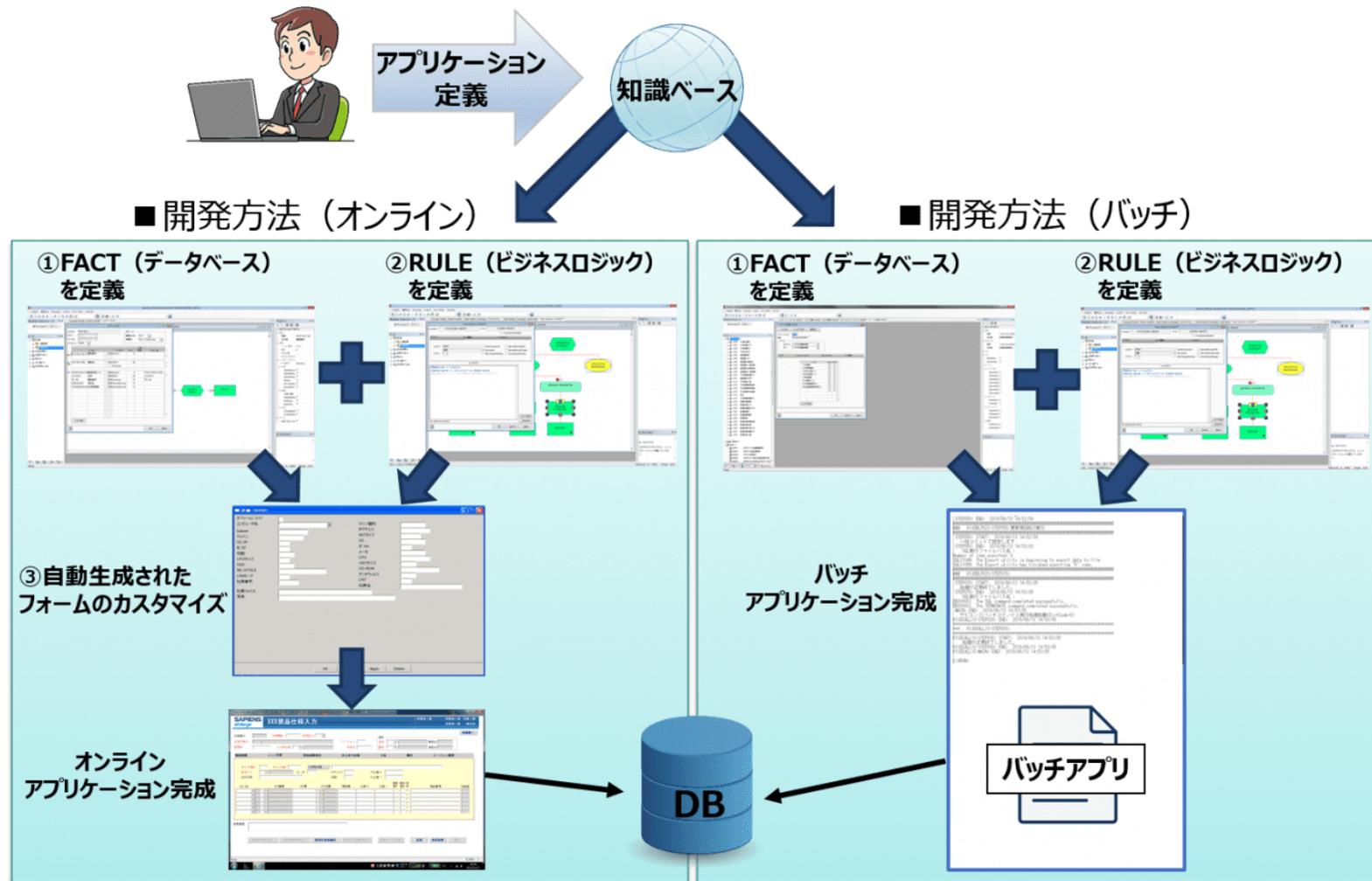
Visual COBOLは、コンテナ型の仮想環境であるDockerコンテナに対応し、アプリケーションの移動やデプロイを容易に行うことができます。開発・テスト工程ではDocker上のCOBOLアプリケーションのコンパイル、ビルド、および開発用実行機能を提供。また、本番運用では検証済み実行環境から本番環境を構築することが可能になります。

弊社からのご提案：SAPIENSを利用した基幹システムの再構築

“ER図定義”、“テーブル定義”、“ルール定義”を『知識ベース』に登録すれば、新システムのプロトタイプを自動生成してくれるローコード開発ツールSAPIENS。社内に在籍する熟練エンジニアの“設計ナレッジ”を可視化することで、再構築プロジェクトを効率的/効果的に推進することができます。レガシーシステムを短期間・低コストでDX戦力化します。

ローコード開発ツール『SAPIENS』のご紹介

＜SAPIENSを使用する開発イメージ＞



事例：
RPG10万ステップのレガシーシステムをRPGの1/3以下の開発費用で再構築
(ステップ数は3%以下)

SAPIENSでの開発実績
合計工数：33人月
(社内：25 + SAPIENS：8)
開発期間：10ヵ月
ステップ数：2,696
開発費用：2,700万円

比較（RPGベンダー見積り）
合計工数：100人月
(社内：8 + ベンダー：92)
開発期間：17ヵ月
ステップ数：10万
開発概算費用：8,000万円